



分別の徹底によるリサイクルの推進



- 14品目の分別搬入
- 手選別による分別の徹



宮城県東松島市建設部下水道課 鈴木雄一
0225-82-1111 (内線2232)



東松島市建設業協会との連携による災害廃棄物処理事業

東松島市

災害廃棄物処理事業

- 得意分野で効率化を推進
- 地元業者だからこそその被災者からの信頼と安心の獲得



浸水地域
対応

協会
加入業者

被災家屋
解体

協会
加入業者

津波体積物
対応

協会
加入業者

協会
加入業者

仮置場
運営

協会
加入業者

戸別回収

※業者により、地域、規模、設備、専門分野等が異なるため、協会で協議し決定する





東松島方式の災害廃棄物処理事業

～被災者を中心とした市民 約800人の雇用も実現～

「混ぜれば“ごみ”、分ければ“資源”」
産官民（地元建設業協会+東松島市+市民）連携によるこの取組みは、事前の準備により、どの地域でも、十分に実現できる取組みです。

◆震災がれき発生量 **109万8000 t**
全体の **約97%** をリサイクル
(東松島市で発生する一般廃棄物 **110年分**)



①被災した家屋等は、
現場分別により14
品目に分別

②可搬型の建設機械
等を活用した一次処
理作業

③徹底した手作業に
より19品目に分別
による最終処理

全量リサイクルした 津波堆積物 **216万800t**
災害廃棄物全体リサイクル率 **99.22%**

震災がれき発生量

木材・木くず	37万1,000t
混合ごみ	7万9,000t
コンクリート殻	40万4,000t
アスファルト殻	3万4,000t
金属類	2万5,000t
不燃物混合類	18万5,000t
合計	109万8,000t
(リサイクル量)	107万0,000t
(焼却量(漁網・廃プラ))	2万8,000t
(処理困難物(石綿・PCB等))	3,155t

宮城県が受託した震災廃棄物の処理単価

	事業費 (百万円)	処理量(千トン)			処理単価 (1ト当たり万円)
		がれき	土砂	計	
気仙沼市	113,893	1,138	839	1,977	5.8
南三陸町	32,982	556	167	723	4.6
石巻市	194,230	3,589	736	4,326	4.5
女川町	17,297	577	0	577	3.0
東松島市	58,067	1,098	2,161	3,259	1.8
塩釜市	15,863	239	10	249	6.4
七ヶ浜町	16,688	228	304	532	3.1
多賀城市	15,222	242	108	350	4.3
名取市	31,799	741	222	963	3.3
岩沼市	25,860	473	154	627	4.1
亘理町	47,876	495	361	856	5.6
山元町	43,888	784	856	1,641	2.7
計	613,665	10,160	5,919	16,079	3.8

〔注〕処理量は小数点第1位を四捨五入しているため、合計が合わないことがある



教訓の伝えること、人材育成の難しさ



平成28年度から災害時実務研修を実施
→講義、図上演習を実施

【課題】

- 短期間での人事異動
- 通常業務と災害廃棄物処理事業の違い
- 図上演習の限界





災害廃棄物仮置場の設置訓練



図上演習で作成した災害廃棄物仮置場は
できなかった。

【見えてきた課題】

- 災害廃棄物をイメージできなかった
- 分別ができない
→何が家具で、何が家電かわからない
- 危険物を判別できない
- 改善を進めない

